

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		・法に順守しているが、その都度パーティーションで仕切って活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			・十分に確保されている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		・適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	5		・毎日のチームミーティングで業務の振り返りと今後の方針等について話し合いを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		2	6	・アンケート調査は行っていないが、毎日のお迎え時に話し合いをし、相互理解を深めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			8	・年度当初に県の方には報告したが、ホームページへの公開は初めてで、今後毎年一回は実施したい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	6	・今後は保護者へのアンケート調査をし、それに基づきより良い運営に努めたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3		・機会がある毎に外部研修に参加している。又、日々話し合いをしながら専門性の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・保護者やこれ迄の通所施設・学校等からの情報提供者、又、本事業所での調査等の結果を生かし計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	1	・上記の資料をS-M社会生活能力検査を有効活用し、質の高い支援ができるよう努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・職員の得意分野・専門性を有効活用できるよう努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・今年は1年目なので、次年度はこの経験を生かし、より内容の濃い質の高い支援ができるようにする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		・事前に課題の設定をし、日々の支援計画を綿密に作成し、実践した結果を生かし次年度の活動計画に生かしたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	5		・個別が必要な子どもには適宜取り出して支援をする。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・毎日必ず実施している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	7		・緊急性のものは当日必ず行うが、それ以外は翌日のミーティングで振り返りと今日の内容について共通理解を深めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・実施している。連絡帳の記載内容は複写にて行っており、支援記録の中に含めてモニタ管理をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・実施している。又、必要に応じて何度でも実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	4	2	・実施しているが、時々確認する必要がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			・適切に代表者を決め参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		・学校との連携は出来るだけ密にとるよう努めている。授業参観等も行ったりし、担任との連携を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	5	・現在は医療的ケアを必要とする子の支援は行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		・児童発達支援事業所との連携や相談支援所との連携は密に行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			8	・現時点では、その必要がない。(高等部の生徒の利用がない為)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		・定期的に話し合いをする機会を設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			8	・情報交換はしばしば行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			・管理者が委員として出席している。内容については、その都度スタッフ会議で報告をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・保護者には送迎時や連絡帳にて情報の共有化を図ったり、隔月に「むすびだより」を発行し、活動状況を知らせている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			・2月～3月にかけて大学教授を招き、6回のペアトレを実施している。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・十分行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・その都度、実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			8	・保護者会の組織は未であるが、今後検討していきたい。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・これ迄、苦情は一度もなかったが、その様なことがあれば真摯に受け止め改善を図りたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・隔月で「むすびだより」を発行し、活動の状況等を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		・常に取扱いには十分留意するよう細かいチェック、管理状況を把握している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		・保護者とのコミュニケーションを大切にし、常に活動内容については情報の提供を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか			8	・未だ、そこ迄の取り組みには至っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		7	1	・国や県などからの通知文・指示伝達事項は、その都度周知を図っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6	2	・今後定期的実施する必要があると考えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・社内研修で外部講師を招へいし、実施した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5	1	・子どもが突然外に飛び出したり、感情が激昂して突然相手になぐりかかったりした時、止めに入ったが保護者に状況を説明し、理解を得ると同時にヒヤリハットに記載した。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		・保護者からの情報提供により適切に対応したい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・どんなに些細なことでも、ヒヤリハットに記入し、全職員に回覧し、情報の共有化を図り再発防止に努めている。
計			210	70	64	

平成29年度放課後等デイサービス自己評価

